

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和5年3月24日

事業所名P.P.P.プラットフォーム！児島

保護者等数(児童数)

回収数 19 割合 73 %

	チェック項目	はい	保護者等数(児童数)			ご意見	ご意見を踏まえた対応
			どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16			3	・見学に行った時にしか見たことがない。 ・子どもが過ごしやすく無駄なスペースがないように思う。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15			4	・丁寧に対応してくれている。 ・その日の配置数など知らされていないし、専門性を聞かれてもよく分からない。	・その日の配置人数はお伝えしていませんが、重要事項説明書にて、3~4人の職員配置基準は満たしています。 ・個々の専門性は違うため、研修等に参加する機会を設けていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	1		2	・手帳を見る限り本人もよく分かっていると思う。 ・バリアフリーまで気になって見てなかった。 ・施設にエレベーターはあるのか分からない。	・エレベーターはなく、完全バリアフリー化にはなっていませんが、段差は少ない構造になっています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17			2	・1、2階ともに清潔で、どのお部屋も活動に合わせた空間になっていると思う。	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	18			1	・とても分かりやすく子供に合っていると思う。 ・本人の特性をふまえて作成してもらっている。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18			1	・とても分かりやすく子供に合っていたと思う。 ・具体的に支援内容を設定してもらっている。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18			1	・計画が日々の支援に反映されている。	
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	16			3	・とてもバランスよく工夫されていると思う。 ・毎週活動内容が異なる中で個々にあった支援をされている。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	2	2	8	・保育園で定型発達の友達と関わっている。 ・幼稚園に通っているので、困らない。 ・事業所で関わる機会があるのか分からない。 ・コロナ禍で今はないのかと思った。	・保育園や幼稚園で定型発達児との関わりがある為、特に機会は設けていません。
保護者への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14				・契約の際に丁寧に説明して下さった。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	17			2	・契約内容を詳しく説明して下さった。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	11	2		3	・ペアレントトレーニングが分からない。 ・連絡帳や送迎時、電話連絡などで相談が出来て助かっている。 ・アドバイスをしてもらえた。	・ペアレントトレーニングは、今年度初めて事業所で実施しました。(7月頃)大変好評だった為、今後も継続して実施していく予定です。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	16				・手帳のやり取りや電話のやりとりをしてもらっている。 ・連絡帳や懇談、又、お電話を通して家庭や園、事業所での本人の様子を共有してもらっている。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15			1	・手帳のやりとりや電話のやりとりをもらっている。 ・その都度悩み等あれば相談ののってもらえてありがたいです。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	2	1	6	・かがやき手帳を書く会や遠足の時に他の保護者との交流があったのが良かった。 ・交流の機会を増やして欲しい。 ・会があるのか不明。	・大変好評だった為、次年度も企画を予定しています。
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14			2	・その都度、適切に対応されています。		

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14			2	・連絡帳や電話、懇談にて丁寧に書かれている。 ・連絡帳だけでは書ききれない事が多い。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13			3	・公表されたいと思う。 ・会報を見ていない。 ・ホームページの見方が分かり難い。	・今年度、会報（あいらんどだより）の発行が定期的に出来ていなかった為、活動の姿をお伝え出来るようにして改善していきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	14			2	・気をつけている。	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	9	2		5	・説明を受けた。 ・実施されている。	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	1		5	・避難訓練をした時に、連絡帳に記載があった。 ・不明。	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	13	3			・先生に会えるのや行くのを楽しみにしている。 ・活動内容によって大きく変わる。	
	23	事業所の支援に満足しているか	15			1	・とても丁寧に接していただいております。	

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年3月24日

事業所名 P.P.P. プラットフォーム！児島

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		刺激物（掲示物）の配慮や衝立等を使用している。	
	2	職員の配置数は適切である	○		利用児が少ない時には活動準備や書類整理などの事務仕事を分担しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		部屋数が多いので、活動内容によって部屋を分けています。子どもに合わせて視覚支援をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		心地よく過ごせるように、気付いたら掃除をするなど意識しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		定期的な会議にて共有しています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		委託して評価は受けていません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		希望者を募り、なるべく参加するようにしています。	
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		年2回相談を実施して支援の見直しを行っています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		太田ステージ発達検査・一般発達検査を活用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		会議で活動ねらいを職員全員で考えています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		クッキング・製作・ルールのある遊びなど季節を考えながら組み立てています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		業務一覧を作成し、職員間で共有しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼・引継ぎノートで共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳やパソコンに記録内容を記入しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		相談支援によって差がある。各担当者が参加している。（必要に応じて児発管も同席）	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保育園・幼稚園・相談支援と連携している。必要に応じて、保健師と連携を図っている。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	／	／		

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	／	／		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		状況表の作成をして、情報提供を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		状況表の作成して、情報提供を行っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	○	児童発達支援事業所と情報交換会や研修に参加しています。また、アドバイザー研修に参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	○		保育園や幼稚園に在籍している為、設けていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		今年度、初めて実施しました。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			おたよりを発行しているが、回数は少なかった為、改善に努めたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		写真掲載についても、同意を得ています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	○		例年「ふれあいフェア」を実施していましたが、コロナ渦の為、実施出来ていません。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		契約時に説明しています。訓練については、おたよりや連絡帳に記載する様にしています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		火災・不審者・地震・津波の避難訓練を年間で組んで実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		プロフィールに記載項目があります。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に確認しています。現在医師の指示書を受けている方は居ません。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		月1回事業所内で「人権会議」を実施しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に説明している。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5 年 3月 24日

事業所名 P.P.P.プラットフォーム！児島 保護者等数(児童数) 回収数 14 割合 67 %

	チェック項目	評価				ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13			1	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1		3	重要事項説明書にて配置人数をお知らせしています。職員の専門性は研修等への参加により今後も維持向上を図っていきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9			5	必要以上のスロープや手すりの設置はありませんが、段差等比較的少ない構造になっています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13	1			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	13	1			
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	2	1	5	感染症予防の観点で外出の機会制限していました。今後、地域との交流の機会等作っていききたいと思います。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	2		2	かがやき手帳を書く会等を令和4年度実施しました。今後も継続し、保護会等機会をつくっていきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	2		3	「なんでも相談」というシステムがあります。おたよりでもお知らせしていきたいと思っています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	1			連絡帳でのやりとりや、お迎えの時に対面で利用中の様子などお話しできるようにしています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	1		1	
14 個人情報に十分注意しているか	14					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	2		2	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10			4	避難訓練や消防署見学等実施しています。今後も多様な災害にそなえていきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	11	2		1	子どもたちと一緒に活動内容を企画したり工夫していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	14				

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 24 日

事業所名 P.P.P.プラットフォーム！児島

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		本館が使用出来る日は、広い空間を提供。	
	2	職員の配置数は適切である	○		基準配置以上の配置ができるようにしています	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		子どもさんの状況により、配慮出来る。	2階フロアへの車椅子移動は困難です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		終礼・会議を実施しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		会議等で話し合い、改善方法を取り入れています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		玄関掲示、法人HPで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価は実施出来ていません。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			研修の機会を増やしていきたいと思います。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			小学生にとってのアセスメントツールを用いるのが良いのか、考えていきたいと思っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			年間予定をもとに、担当者中心に立案しています。会議等で、より多くの意見を取り入れながら立案していこうとおもいます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎週違う集団活動を計画している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			土曜日のみ実施となります。夏や冬の長期休みはイベントを取り入れる様にしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		事前に活動の流れや役割分担を作成し、把握している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼・引継ぎノートを使用している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
関係機関 や保護	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当職員が参加出来るように日程調整をしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		電話連絡、おたよりを配布して活動内容をお知らせしている。モニタリング時に担任の先生と情報共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	／	／		該当者なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		相談支援の担当者から情報を得ている。	
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		状況表を作成し、保護者経由で次の関係機関へ情報提供している。		

者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修参加後、職員間で共有している。	研修に併せて、様々な職員が参加できるようにしていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		感染症予防の観点で外出活動の制限をしていましたが、少しずつ地域との交流を企画していきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		案内をもらい参加するようにしています。	責任者が参加している為、内容を職員間で共有していきたいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や受け入れ・送り出しの時にやっている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	○			令和4年度に初めて事業所にて実施し、好評だったため、次年度も計画しています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行い、閲覧可能なファイルを設置している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		懇談や電話、連絡帳で実施している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・かがやき手帳を書く会を実施し、保護者同士が関わる機会を提供。	かがやき手帳を書く会を継続的に実施し、保護者同士が関われる機会を提供していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・子供との面談の機会をもっている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		あいらんどたよりを配布している。	定期的に発行していけるようにします。
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			例年地域向けの「ふれあいフェア」を実施していますが、コロナ渦で実施出来ていません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		契約時に説明しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年間活動計画に取り入れ、おたよりで活動報告している。 消防署見学、避難訓練の実施。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎月人権会議の実施とチェック表を記入している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		法人でガイドラインがあります。	契約時に保護者には話をしています。 現在、身体拘束をしないといけな対象者はいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		プロフィールに記載欄があります。	医師の指示書がある方は、提出をお願いしています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				